

# 造影CT検査説明書

患者番号 {/pidtx/}

説明日 {/expdatetx/}

患者氏名 {/pnametx/}

説明者 {/expstafftx/}

生年月日 {/pbirthtx/}

## 1 病状（病名）

## 2 治療計画の内容

治療予定日 {/scheduleddate/}

## 3 医療行為を行った場合に予測される効果や改善の見込み

## 4 医療行為に伴う危険性、合併症の有無

4.1

4.2

4.3

4.4

4.5

## 5 代替可能な治療法、その利点と欠点

## 6 医療行為を行わない場合の予後等

## 7 他の医療機関で意見を聞くことのできる権利（セカンドオピニオン）

患者さんは診断や治療方針について他の医療施設の医師の意見（セカンドオピニオン）を求めるすることができます。

## 8 同意しない権利

患者さんは、十分な説明ならびに情報の提供を受けた上で自由意志に基づき医療行為について「自分で選択・決定すること」ができます。「同意すること」や「同意をしないこと」、同意した後に「同意を撤回すること」もできます。

## 9 備考

# 造影CT検査 説明書

○○○○病院

今回実施するCT検査は“造影剤”という薬剤を用いて行います。造影剤を用いることにより、病気の状態をより正確にすることができます。

## 【副作用の種類と発生頻度】

この薬剤は安全なものですですが、他の薬品と同様に稀に副作用が起こることもあります。

1. 軽い副作用: 吐き気、嘔吐、じんましん、皮膚のかゆみ、発疹などで、多くは一時的なもので心配はありませんが、必要に応じてお薬を使う場合があります。このような副作用が起こる確率は数%です。
2. 重い副作用: 呼吸困難、血圧低下、意識障害などで、通常は治療が必要です。このような副作用が起こる確率は約0.2%です。
3. 非常に稀ですが、病状や体質によっては10～20万人に1人の割合(0.0005%)で死亡にいたった例も報告されています。
4. 遅発性の副作用: 稀に、検査後数時間以降に発疹などの皮膚症状、血圧低下などが起こることがあります。多くは軽いもので、自然に治りますが、念のため病院までご連絡ください。
5. 以前に造影剤を用いる検査を受け、副作用の起こらなかった方でも、副作用が起こる可能性があります。

## 【造影剤を注入する際】

1. 体が熱くなる事がありますが、血管に対する造影剤の刺激による正常な反応で、心配はありません。
2. 造影剤注入時、血管外に造影剤が漏れる事があります。この場合には、注射部位は腫れて、痛みを伴う事があります。基本的に時間がたてば治まり心配はありません。漏れた量が多い場合には処置が必要になる場合もありますが、稀です。当院ではこのような副作用に対して万全の体制を整えて、検査を行っています。もし、異常を感じたら、すぐにお知らせ下さい。

## 【検査終了後】

造影剤は尿の中で自然に排泄されます。検査後は十分に水分をとるように心がけて下さい。水分を多くとることで尿量が増え、排泄が早まり副作用の予防にもなります。水分制限を指示されている方は、主治医にご相談ください。わからぬ事がありましたら、主治医又は、検査担当者に遠慮なくご質問下さい。

説明済み

